



美術館・博物館・
文化会館・多目的ホール



建物の概要
所在地:岩手県二戸市石切字荷渡55
ホール席数:132席
ステージ面積:60m²
ホール照明設備:東芝ライテック(株)
電気工事:松田電気(株)
竣工:平成11年7月

調光メモリー操作卓により 最適な照明制御を実現したホール

A hall that uses a lighting memory control desk to realize optimum lighting control

3つの施設から構成される 複合文化センター

「水と緑とアートのある、にぎわいのある空間づくり」をテーマに開発・整備が進む二戸市ビッグコア計画地に、市の新しい顔として二戸市シビックセンターがオープンしました。本施設は、ホールや地域情報センター等からなる「地域交流センター」、二戸出身で日本物理学の創始者といわれる田中館博士の業績を記念した「田中館愛媛橋記念科学館」、二戸で中学・高校時代を過ごした日本を代表するグラフィックデザイナー福田繁雄氏の作品を集めた「福田繁雄デザイン館」の3つの施設により構成されています。

センター正面入口を入ってすぐのギャラリーは、地域交流センターのシンボルとなる1階から3階までの吹き抜け空間で、外光を取り入れながら間接照明を配置することで開放的な空間を演出し、施設全体に明るさと一体感を持たせています。

132席の固定席と60m²のステージ、200インチの大スクリーンや最新の映像機器を備えたホールは、講演や会議等の各種交流に利用できる他、子供たちの発表会や学習の場として多目的に利用できるようになっています。また、ホールでは備え付けのビデオやLD、ハイビジョンによる二戸市の案内・紹介も行われています。

照明制御には調光メモリー操作卓(ムーディムメモリー)を採用し、簡単な操作で正確・迅速に舞台照明をコントロール。各種イベントに対応する照明シーンが演出できるのはもちろん、余分な照度の抑制も可能としています。照明器具は白熱灯36灯とハロゲンランプ計53台(うち1kW11灯)を使用しており、このクラスでは十分な照度が得られる設備としています。また各器具にはR、G、Bのカラーフィルタを装備することで光の演出による美しい舞台描写も可能とし、使用しない場合は取りはずすこともできる構造になっています。さらにそれぞれのボタンには昇降装置が設置され、省メンテナンスも実現しています。

照明コンセプト

Lighting design concept

各種イベントに対応する照明シーンが演出できる
設備内容

省メンテ、省エネの実現化



ホールの舞台照明設備
The Hall's stage lighting equipment



調光メモリー操作卓(ムーディムメモリー)
A lighting memory moodim desk (modim memory)



固定席132席の二戸市シビックセンターのホール
The 132-fixed seat hall in the Ninohe City Civic Center



主幹盤・調光器盤
The lighting control panel in the main control room

主要照明器具一覧表

器具名	形名	台数	ランプ
ポーダライト	TS-BL15931	4台(36灯)	150W白熱灯
サスペンションライト	TS-CK(FI)056B-N1	12台	500Wハロゲンランプ
アッパーボリソントライト	TS-UH52	30台	300Wハロゲンランプ
シーリングスポットライト	TS-CI108B-N1	10台	1kWハロゲンランプ
センターピンスポットライト	UHP-1000S	1台	1kWハロゲンランプ
調光メモリー操作卓(ムーディムメモリー)	TRDM-40ACZ	1台	